

自治体・企業向け環境改善ソリューション資料

空気も水も汚さない。

**持続可能な
生ゴミ処理の「新基準」**



2025年度版 導入検討ガイドブック

排水設備不要/平均減容率99%以上/自治体様への導入複数

* 日本発酵または代理店と騙る業者、KIDシステムの製造販売元と騙る業者にご注意下さい。

* 当資料に掲載されているすべての内容の著作権は当社に帰属しております。

当資料の掲載内容（画像、文章等）の一部及び全てについて、無断で複製、転載、転用、配布、改変等の二次利用を固く禁じます。

発行元
日本発酵株式会社

「環境対策」のつもりが 新たな「管理コスト」を生んでいませんか？

SDGsやカーボンニュートラルの流れを受け、

多くの自治体や企業が「バイオ式生ゴミ処理機」の導入を検討されています。

しかし、従来式には、導入して初めて気づく「見落とされがちな課題」が存在します。

🚫 排水・水質管理の負担

一般的に処理能力が高いとされる方式では、大量の水を使用し、処理後の水を排水する必要があります。

△下水道法・水質汚濁防止法への対応が必要

△グリストラップや配管の目詰まりリスク

△将来的な規制強化による使用不可の懸念

🌿 「堆肥化」という名の廃棄

排水を出さない方式の多くは、減容率が低く、大量の「生成物（堆肥の原料）」が残ります。

△頻繁な取り出し作業の手間

△使い道のない大量の堆肥の引き取り先確保

△結局「ゴミ」として処分場へ運んでいる現実

理想的な解決策とは？

もし、「排水設備が一切不要」で、かつ「生ゴミがほぼ消滅（99%減容）する」技術があれば、これらの管理コストと法的リスクを同時にゼロにできると思いませんか？

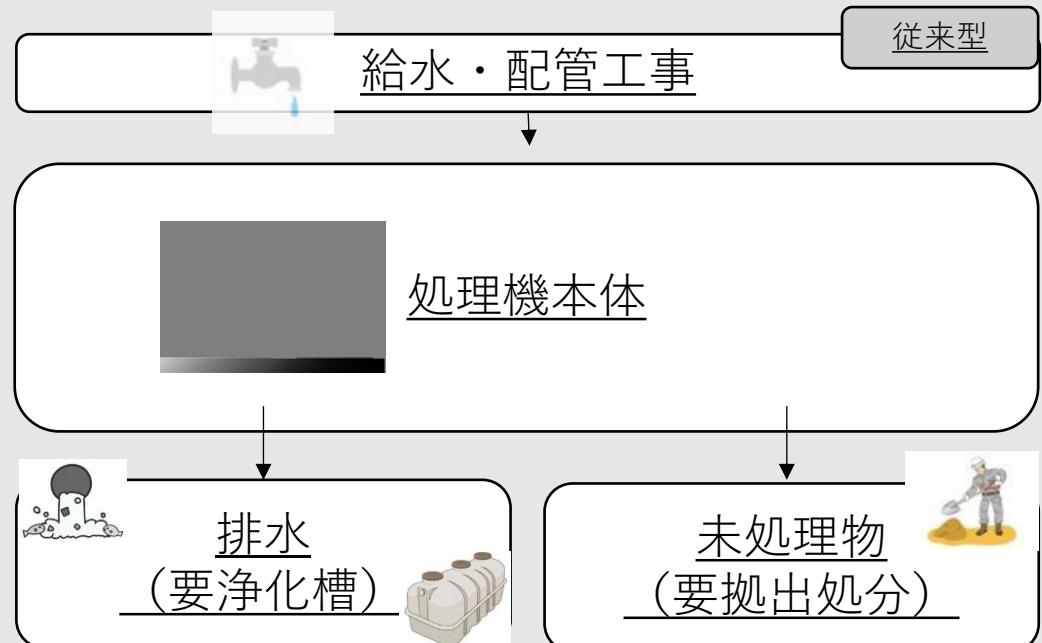
*日本発酵または代理店と騙る業者、KIDシステムの製造販売元と騙る業者にご注意下さい。

*当資料に掲載されているすべての内容の著作権は当社に帰属しております。

当資料の掲載内容（画像、文章等）の一部及び全てについて、無断で複製、転載、転用、配布、改変等の二次利用を固く禁じます。

KIDシステム®が選ばれる理由 (UNIDO STEPP 登録技術)

システムフロー比較



給排水一切不要

設置に必要なのは100V/200V電源のみ。
工事費を削減し、水質汚濁防止法などの
法的リスクから解放されます。

99

驚異の減容率

投入した生ゴミの99%以上が分解・消失。
残渣の取り出しは「必要な時に、必要な
分だけ」良質な堆肥として利用可能です。



投入物の自由度

従来苦手とされた「油類」「魚のアラ」
「汚泥」なども投入可能。目詰まりの心配が
ないため、分別の手間を軽減します。

処理可能なものの（一例）：野菜・果物・肉・魚（骨含む）・汚泥・米・種・畜糞 ※投入不可物：金属、ガラス、プラスチック等の無機物

* 日本発酵または代理店と騙る業者、KIDシステムの製造販売元と騙る業者にご注意下さい。

* 当資料に掲載されているすべての内容の著作権は当社に帰属しております。当資料の掲載内容（画像、文章等）の一部及び全てについて、無断で複製、転載、転用、配布、改変等の二次利用を固く禁じます。

「理論」だけではありません。 過酷な現場で証明された「実績」があります。

世界最大規模の市場での長期稼働 11年超

東京都中央卸売市場（豊洲・築地）にて長期間運用。
日々大量に発生する水産・青果廃棄物を安定処理し
続けています。

国連機関プラットフォーム登録 **UNIDO STePP 登録技術**

国際連合工業開発機関（UNIDO）東京事務所のサステナブル技術普及プラットフォームに登録。途上国の産業開発にも資する優れた環境技術として認められています。

その他の導入事例

- ・**大井競馬場（TCK）**：150kg機導入。循環型運営に貢献。
- ・**堺 緑のハーベストの丘（大阪）**：300kg機導入。生ゴミ処理に加え、堆肥製造目的でも活用。

現状の処理コストと比較してみて下さい。

導入コスト、ランニングコスト、そして削減できる労務コスト。

具体的な数字でメリットをご提示します。まずは現状の課題をお聞かせください。

<https://www.nihonhakko.co.jp/contact>

info@nihonhakko.co.jp

日本発酵株式会社

* 日本発酵または代理店と騙る業者、KIDシステムの製造販売元と騙る業者にご注意下さい。

* 当資料に掲載されているすべての内容の著作権は当社に帰属しております。

当資料の掲載内容（画像、文章等）の一部及び全てについて、無断で複製、転載、転用、配布、改変等の二次利用を固く禁じます。